

令和2年度事業計画書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人 海原会

令和 2 年度 事業計画書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 3 1 日

公益財団法人海原会は、戦没された予科練同窓生各位の御霊に対して、深甚なる敬意を捧げるとともに、その歴史的事実を正しく後世に伝承するため及びその御霊の安らかならんことを願うための事業を通じて、かつて日本国民が味わった惨禍を再び繰り返すことのないように、全世界の平和とわが国の繁栄及び国民の幸福に寄与することを基本理念として昭和 5 4 年に設立されて以来、今日まで 4 2 年に亘って活動してまいりました。

この間多大の貢献をされた予科練同窓生を中心とする会員も、高齢化にともない逐次退会を余儀なくされております。また、会員の構成も同窓生主体から逐次一般出身会員主体に移行しており、早急な海原会の新体制への移行が必要となっております。役員の出身母体別構成の見直しをはじめ大森事務局の移転準備など令和 2 年度は前年度に引き続き、戦没予科練生の慰霊と顕彰事業を着実に推進するとともに、海原会の新体制移行についての検討を推進してまいります。

I 慰霊・顕彰事業

1 慰霊事業

先の大戦において、祖国日本の危急を救うために、名実ともにわが国航空戦力の中核となり、あるいは航空機に代えて回天・震洋などの搭乗員として、一身を国に捧げた予科練出身戦没者の慰霊事業は、当法人の主要事業の一つであります。

その中で最も重要なものは、「雄翔園」に於ける「全国予科練戦没者慰霊祭」であります。本年度は第 5 3 回目の慰霊祭であり、日本全国から多くの同窓生及びご遺族等のご参列を頂き、5 月 3 1 日（日）に開催いたします。

今回も阿見町及び阿見町教育委員会に「後援」をいただき、海原会会員のみならず地元阿見町と一体となった慰霊祭を目指します。

「全国予科練戦没者慰霊祭」以外にも、全国各地で行われる慰霊祭等に、海原会役員を出席させ会の目的である予科練出身戦没者の慰霊を推進いたします。

一方、雄翔園を始めとする慰霊環境の整備を陸上自衛隊武器学校のご指導をいただきながら推進いたします。

その主要なものは以下に記述するとおりです。

(1) 第53回予科練戦没者慰霊祭

ア 偲ぶ集い

- (ア) 日 時 : 令和2年5月30日(土) 午後5時半から
- (イ) 場 所 : ホテルマロウド筑波
- (ウ) 参加者 : 予科練同窓生、ご遺族、支援者、海原会役員
- (エ) 予科練同窓生を父親に持つ参加者の懇親会を計画する。

イ 慰霊祭

- (ア) 日 時 : 令和2年5月31日(日) 午前11時から
- (イ) 場 所 : 陸上自衛隊武器学校内「雄翔園」
- (ウ) 内 容

(a) 第53回予科練戦没者慰霊式典

(b) 直会

(エ) 協 力

陸上自衛隊武器学校 : 慰霊祭及び直会会場の設営
会場警備、案内誘導

陸上自衛隊武器教導隊 : 会場整備

武器学校OB会 : 慰霊祭実行委員会への勤務員派遣

陸上自衛隊施設学校 : 施設学校音楽隊の派遣

海上自衛隊下総航空基地 : 儀仗隊、献花隊員の派遣

海上自衛隊小月航空基地 : 儀仗隊、献花隊員の派遣

阿見町予科練平和記念館 : 慰霊祭実行委員会への勤務員の派遣

阿見町交通安全母の会 : 慰霊祭実行委員会への勤務員の派遣

阿見町更生保護女性の会 : 慰霊祭実行委員会への勤務員の派遣

学校法人霞ヶ浦高等学校 : 慰霊祭実行委員会への勤務員の派遣

(オ) 後 援

阿見町

阿見町教育委員会

(2) 特別写真展

ア 期 間 : 令和2年4月28日(火)～5月31日(日)

イ 場 所 : 「雄翔館」内特別写真展示会場

ウ 展示内容

(ア) テーマ 「雄翔園の四季」

(イ) 写真提供 広報援護班 皆木義時 氏

(3) 各地区戦没者慰霊祭

ア	靖国神社春季例大祭	令和2年	4月	於：靖国神社参集殿
イ	大分海軍航空隊鎮魂祭	令和2年	4月	於：大分護国神社
ウ	浜空鎮魂の碑慰霊祭	令和2年	4月	於：浜空神社跡地
エ	宮崎特攻基地慰霊祭	令和2年	4月	於：宮崎特攻基地慰霊碑
オ	若桜の碑慰霊祭	令和2年	5月	於：三重空慰霊碑前
カ	靖国神社崇敬奉賛会	令和2年	5月	於：靖国神社境内
キ	静岡空襲日米合同慰霊祭	令和2年	6月	於：賤機山山頂
ク	東郷神社海の宮祭	令和2年	7月	於：「海の宮」お社前
ケ	全国戦没者追悼式	令和2年	7月	於：日本武道館
コ	8.15会慰霊祭	令和2年	8月	
サ	特攻平和観音慰霊祭	令和2年	9月	於：世田谷観音寺境内
シ	零戦の会慰霊祭・総会	令和2年	9月	於：靖国神社
ス	靖国神社秋季例大祭	令和2年	10月	於：靖国神社参集殿
セ	串良基地戦没者慰霊祭	令和2年	10月	於：串良平和公園
ソ	ハワイ日米合同慰霊祭	令和2年	12月	於：ハワイ ホノルル
タ	特攻隊戦没者慰霊祭	令和3年	3月	於：靖国神社境内

(4) 慰霊環境の整備

雄翔園内池の水質改善を図るために井戸を設置し、井戸水を常時注入することにより水が循環できる環境を整備します。

2 顕彰事業

(1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

戦後75年が過ぎ、戦没同窓生のご遺族も世代が親兄弟から、子や孫の世代に移り、家族の形態や居住環境の大きな変化に伴い、各ご遺族が保管していた遺書や遺品等もその維持管理が困難になるケースが多くなりつつあります。これにともない、本法人では予科練戦没者の遺書・遺品・実戦記録を収集するとともに、予科練生存者・遺族及び海軍出身者などの体験談等を収集して、予科練の史実を次の世代へ正しく伝承するための基盤の確立に努力するとともに、それらの資料を雄翔館に展示することにより戦没同窓生の偉勳の顕彰に努めます。

ア 予科練戦没者の遺書・遺品の収集および戦没者紹介パネル等の作成

(ア) 機関誌及びホームページに収集要領を掲載し、年間を通して資料を収

集めます。

(イ) 収集した情報に基づき戦没者紹介パネルの作成を行います。

イ 収集した遺書・遺品等の整理保管及び劣化防止のための施策

ウ 体験談等の録画及び公開

実戦や予科練での訓練・生活の様子について体験談を映像で収集整理するとともに、雄翔館内の証言記録視聴用モニターの内容の充実を図ります。また、海原会ホームページへアップします。

エ 遺品等所蔵庫の整備

「遺品等所蔵庫」内部に間仕切り壁を構築して、慰霊祭用備品類の保管場所と遺品保管場所の区分化を図り、所蔵庫の環境の改善を図ります。

(2) 遺族調査事業

様々な手段により戦没予科練生のご遺族の調査を行い、ご遺族ネットワークを構築するとともに、現在海原会で把握しているご遺族のデータベースの充実・更新を行います。また、ご遺族訪問を行い、証言記録を作成保存するとともに、ご遺族の同意を得たものについて機関紙及びホームページ上に公開します。

(3) 阿見町予科練平和記念館への協力

阿見町予科練平和記念館運営協議会委員として、適任の理事1名を参加させて運営に対して意見を述べ、同館と雄翔館の同地域における共存共栄の基盤を確立します。

(4) 海上自衛隊への協力

予科練の教育制度を継承する海上自衛隊航空学生が行う、雄翔園・雄翔館における現地研修を支援します。

ア 第72期航空学生入隊式への出席

(ア) 日時 平成31年4月5日(日)

(イ) 場所 海上自衛隊小月航空基地

(ウ) 理事長が出席

イ 航空学生の雄翔館見学支援

雄翔館及び雄翔園を研修する航空学生の案内を実施します。

II 定期刊行物発行事業

本法人の機関誌「予科練」は、会員・遺族及び関係諸団体の皆さんから強い関心と高い評価を得ておりますが、令和2年度は更に掲載内容の充実を図り法人の健全なる運営に資するように努力してまいります。

このため、編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等の、従来の内容に加えて、今年度も生存同窓やご遺族の皆様あるいは海原会

の会員皆様から投稿していただき、これまで以上にご遺族の皆様・会員の皆様に喜ばれるような内容の充実に力を入れてまいりたいと思います。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより、会員以外の購読者の発掘にもチャレンジしたいと考えております。

1 編集委員会

(3・4月号) : 2月、(5・6月号) : 4月、(7・8月号) : 6月、
(9・10月号) : 8月、(11・12月号) : 10月
(1・2月号) : 12月

2 機関誌発行

(3・4月号) : 3月1日、(5・6月号) : 5月1日、(7・8月号) :
7月1日、(9・10月号) : 9月1日、(11・12月号) : 11月1日、
(1・2月号) : 1月1日

3 機関誌のあり方検討

(1) 機関誌発行経費の削減と、編集委員等の円滑な世代交代を推進するために、機関誌「予科練」の在り方に関する検討を前年度に引き続き実施します。

(2) 事務局を茨城県に移転させた場合の、機関誌の発行要領特に印刷・製本・発送に関する内容について個別に検討を行います。

4 編集委員の募集

編集委員会の活性化を図るために、編集委員を広く募集します。

III 青少年育成支援事業

1 令和2年度も昨年度に引き続き、青少年育成のための助成を実施します。

助成対象については、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図った上で決定し予算の範囲内で支援を行うように努めます。

2 助成の公平性を確保するために、助成対象基準希望調査をおこないます。

VII 庶務事項

1 海原会大森事務局の移転検討

大森事務所の茨城県阿見地区への移転に関する検討を開始します。

(1) 検討主務者 副理事長 安井剛 氏

(2) 検討開始の報告 令和2年度評議員会で報告

(3) 検討結果の報告 令和3年度評議員会で審議

2 理事会

本年度からは隔月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、実施します。

令和2年4月16日・6月19日・8月13日・10月15日・12月17日

令和3年2月18日

3 評議委員会

令和2年度評議委員会を令和2年6月19日（金）に実施します。

- (1) 令和元年度事業報告（令和元年度収支決算審議を含む。）
- (2) 令和2年度事業計画報告（令和2年度収支予算書報告を含む。）
- (3) 令和2年度役員改選
- (4) 海原会定款等改正
- (5) 大森事務局の移転検討について

4 会計監査

令和元年度の収支報告書に基づき、会計監査を行い海原会の経費使用状況の健全性を監査します。

- (1) 時 期 令和2年4月16日（木） 10時
- (2) 場 所 海原会事務局 会議室
- (3) 参加者
 - ア 経理担当副理事長、事務局長、経理担当理事
 - イ 監事（2名）
 - ウ 事務局員
 - エ 顧問公認会計士 加藤久幸 氏

この事業計画書は、公益財団法人海原会の令和2年度の事業計画書の原本に相違ありません。

公益財団法人 海原会

理事長 菅野 寛也